

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-201	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38・光村	書Ⅱ・704	書Ⅱ		

1. 編修の基本方針

「自分の書」を広げる。

生徒が書に愛着をもち、「自分の書」を広げることができる教科書を目ざし、次の点を柱に編修しました。

感じる

鑑賞・臨書教材では、原跡に迫る高精細な図版を掲載しています。「本物」から感じ取ることのできる書の真髄は、生徒の感性を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばします。

学ぶ

古典がもつ個性豊かな表情を味わいながら学習できる構成を目ざしました。学びやすさを追求し、達成感をもって取り組める構成は、生徒の主体的な学習姿勢を育成します。

考える

生徒が古典や名筆の鑑賞や臨書に基づいた表現を自ら工夫し、推敲を重ねながら、個性的な書の表現や構成美について考え、理解を深めます。

編修の留意点

1 書道が好きになる

楽しく学べる教科書を目ざし、書を身近に感じられる教材を取り上げ、生徒が主体的に学ぶことで自分の書に向き合えるように構成しました。

2 個性豊かな表現と鑑賞の力を伸ばす

「書道Ⅰ」で培った能力を基礎とし、厳選された古典教材を学習することによって創造の根源となる感性を高め、表現力と鑑賞力を相乗的に培いながら自己表現へと展開できる内容を目ざしました。

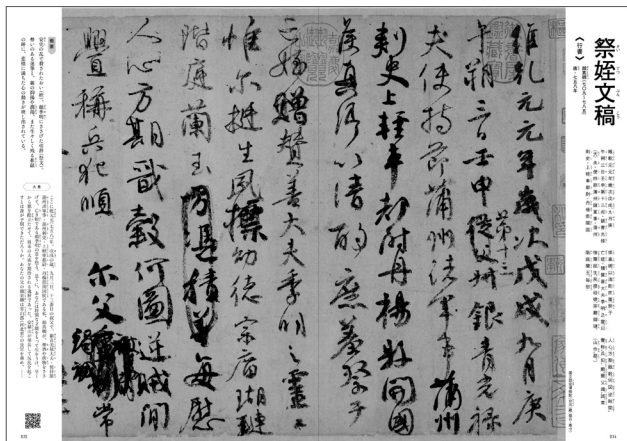
3 書文化への関心を高め、学びを広げる

書の伝統と文化について、さまざまな角度からアプローチすることで、その理解を深めて文化に親しみ、次世代へ継承していく態度を育成することを目ざしました。

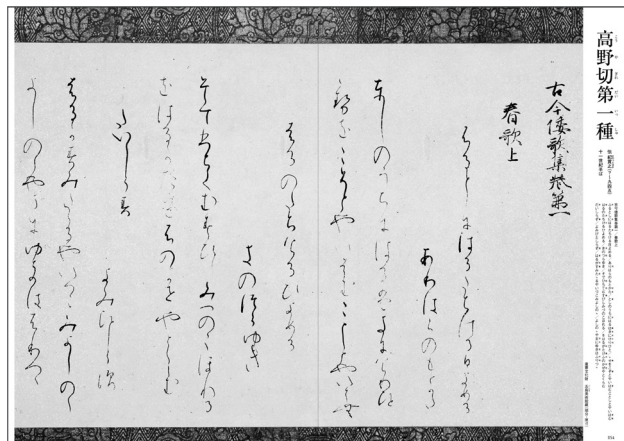
1 書道が好きになる

●「本物」にこだわりました。

古典・古筆は、生徒の感性を高める大切な教材であるため、極めて鮮明で臨場感あふれる高精細の図版を掲載しています。さらに、卷子本や剪装本、軸装など、書かれた状態そのままを掲載し、教材の価値を高めるよう追求しました。色調においても実物との校正を繰り返し、原跡に近づくよう追求しました。



p.34-35「祭姪文稿」



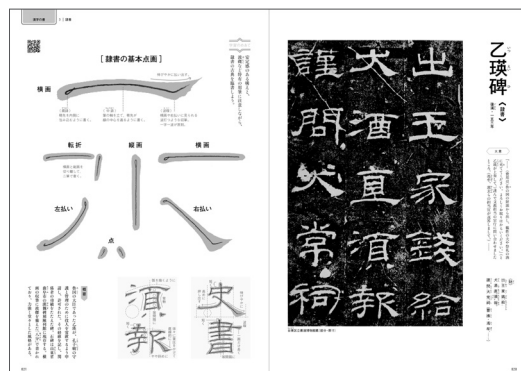
p.54-55「高野切第一種」

●基本古典から個性的な古典まで幅広く掲載しています。

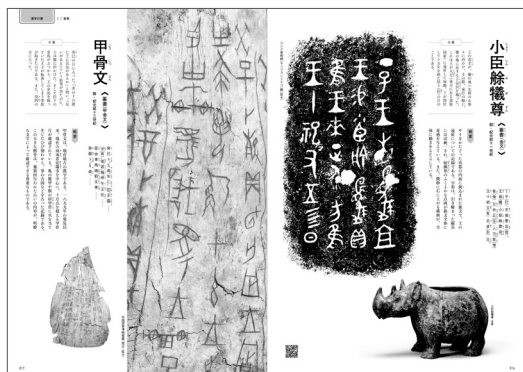
古典教材は質・量ともに充実を図り、「漢字の書」「仮名の書」では、さまざまな時代・書風の作品を幅広く取り上げました。生徒の視野を広げ、表現の多様性を実感できる構成です。



p.12-13「泰山刻石」



p.20-21「乙瑛碑」



p.16-17「小臣餘犧尊／甲骨文」



p.66-67「香紙切／針切」

2 個性豊かな表現と鑑賞の力を伸ばす

●どのような特徴や書風を意識して書くかを、ひと目で分かる構成にしました。

基本となる古典は見開き構成とし、右ページには古典を原寸大で掲載、左ページには古典の特徴や臨書のポイントを示明して、学習内容の焦点化を図りました。今回の学習指導要領改訂で新設された〔共通事項〕に配慮した構成を実現し、表現と鑑賞の基礎的な能力を着実に身につけることができます。

臨書のポイント

その書に特有の書風や字形・用筆が見られる文字をもとに、何を意識して書くかを明示しました。

運筆のポイント

草書では、部分ごとの書き方を、篆書・隸書では、基本点画の運筆のポイントを明示しました。

p.26-27「十七帖」



概要

古典の背景やエピソードを記しました。

臨書教材

鮮明な図版を、原寸で掲載しました。ページを折り返せる中綴じ製本のため、高精細な図版を机上に置いて臨書できます。

学習のめあて

古典教材を通して、何を学習するのかを明確に示しました。

学習のめあて

点画の筆脈を捉え、柔らかさと線の太細を意識しながら、草書の古典を臨書しよう。

3 書文化への関心を高め、学びを広げる

●書文化や芸術への関心を高める魅力的な教材が満載です。

書の伝統と文化に対する理解を深めるとともに、文字文化や他の芸術分野、国語の学習にもつながる多角的な教材を提示しました。生徒の視野を広げ、興味・関心を喚起できる内容を厳選して掲載しています。



p.46-47「タイムスリップ書道史」



p.84-85「直筆で味わう名作」

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当頁
王羲之の書 三色紙 広がる書の表現		○ 口絵表には、世界各地に収蔵されている王羲之の名品を、口絵裏には、仮名の名品である三色紙を集めて示した。さらに、古典や古筆の技法を受け継いで生まれた現代の書作品を掲載することで、伝統文化を尊重する態度を養うよう配慮した。【第5号】	表2-p.7
漢 字 の 書	1 はじめに 個性豊かな漢字の姿	○ 甲骨文に始まる漢字の変遷と歴史を示すことで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第5号】	p.10-11
	2 篆書 泰山刻石 石鼓文／臨石鼓文 小臣餘簠尊／甲骨文 【コラム】何のために書くのか？	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、篆書の基礎古典のほか、個性豊かなさまざまな古典を教材として取り上げた。また、基礎古典には、鑑賞・臨書のポイントや基本点画の解説、字形・筆順を丁寧に示した。【第1号】 ○ コラムでは、古代から残るさまざまな書を紹介し、人間の営みに欠かせない、書くという行為の目的を考えさせることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第3号】	p.12-19
	3 隸書 乙瑛碑 居延漢簡 曹全碑／石門頌	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、隸書の基礎古典のほか、個性豊かなさまざまな古典を教材として取り上げた。また、基礎古典には、鑑賞・臨書のポイントや基本点画の解説を丁寧に示した。【第1号】	p.20-25
	4 草書 十七帖 書譜／自叙帖 【コラム】名品になった詫び状	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、草書の基礎古典のほか、個性豊かなさまざまな古典を教材として取り上げた。また、基礎古典には、鑑賞・臨書のポイントや部分別の書き方の例を丁寧に示した。【第1号】 ○ コラムでは、名品として名高い詫び状を取り上げ、草書が日常に根付いていたことを理解することで、幅広い教養を身に付けられるよう配慮した。【第1号】	p.26-31
	5 行書 集王聖教序／温泉銘 祭姪文稿／祭伯文稿／争坐位文稿 【コラム】顔真卿の「三稿」 【コラム】北宋の三大家	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、個性豊かなさまざまな行書の古典を教材として取り上げた。【第1号】 ○ 思いや感情が表れた顔真卿の「三稿」を取り上げ、そこに込められた作者の思いを想像することで、個人の価値を尊重し、創造性を培うよう配慮した。【第2号】	p.32-39
	6 楷書 薦季直表／饒宝子碑 始平公造像記／張猛龍碑 孟法師碑／樂毅論 【コラム】タイムスリップ書道史	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、個性豊かなさまざまな楷書の古典を教材として取り上げた。【第1号】 ○ コラムでは、遣唐使として中国で学んだ空海や同時代の唐の様子を取り上げ、古来盛んであった両国の交流について理解することで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第5号】	p.40-47
	7 創作する 近現代の書を味わおう 座右の銘を書こう 【コラム】日本文学に登場する能書	○ 創作活動では、座右の銘を題材に取り上げ、豊かな情操や道徳心、健やかな身体の育成につながるよう配慮した。【第1号】 ○ 自分の選んだ座右の銘を題材に、伝統的な書式を踏まえながら個性豊かに創作することで、生徒の個性を尊重し、創造性を培うよう配慮した。【第2号】 ○ コラムでは、日本文学と書が密接に関連していたことを知ることで、幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮した。【第1号】	p.48-52
仮 名 の 書	1 古筆に学ぶ 高野切第一種 「高野切」の書風を見てみよう 平仮名・変体仮名 表現を比べよう 自然を生かした紙面構成 多彩な表現を楽しもう	○ 仮名の書に関する知識が幅広く身に付くよう、基礎的な古筆のほか、書風の異なるさまざまな古筆を教材として取り上げた。【第1号】 ○ 「高野切」の書風の違いが書き手の違いによることを知ることで、幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮した。【第1号】 ○ 平仮名と数種の変体仮名を取り上げ、漢字から仮名が成立した過程における先人の創意工夫を知ることにより、伝統文化を尊重しながらも、創造性を培うよう配慮した。【第2号】 ○ 雁行や藤棚などの自然美を感じさせる古筆を取り上げることで、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うよう配慮した。【第4号】 ○ 自然を生かした紙面構成を教材に設定し、独自の構成美を生み出してきた我が国の文化を尊重する態度を養うよう配慮した。【第5号】	p.54-67
	2 創作する 用具・用材による変化を楽しもう 百人一首を書こう 【コラム】料紙を作ってみよう	○ 創作活動の題材として百人一首を取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮した。【第5号】 ○ 自分の選んだ百人一首を題材に、伝統的な書式を踏まえながら個性豊かに創作することで、生徒の個性を尊重し、創造性を培うよう配慮した。【第2号】 ○ コラムでは、現代に伝わる料紙加工技術を身近な伝統工芸として取り上げ、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第2号】	p.68-72

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当頁
漢字 仮名 交じり の書	1 古典・名筆に学ぶ 風景を書で表現する 古典の書風を生かそう	○ 日々の生活で心に残った風景を題材とした書を取り上げることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮した。【第4号】 ○ 書には用と美の二面があることを意識させるため、書とその基になった古典教材を取り上げ、自らも自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第3号】	p.74-81
	2 創作する イメージを書で表現する 直筆で味わう名作 ポスターを作ろう 【コラム】良寛の書	○ 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、郷土をPRするポスターを制作する活動を設定した。【第5号】 ○ 自分の郷土を題材に創作することで、生徒の個性を尊重し、創造性を培うよう配慮した。【第2号】 ○ 名作の直筆原稿を取り上げ、独特な美意識に貫かれた手書き文字を鑑賞することで、書が日常に根付いていたことを理解させるとともに、幅広い教養を身に付けられるよう配慮した。【第1号】 ○ コラムでは、生命の息吹を感じさせる良寛の手紙を教材とし、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮した。【第4号】	p.82-88
篆刻・ 刻字	1 はじめに 多彩な印の表現 さまざまな書体で見る姓名印	○ 印の歴史を示すことで、日本と中国の文化の関わりについて理解を深め、伝統文化を尊重する態度を養うよう配慮した。【第5号】 ○ さまざまな書体で刻された姓名印を取り上げることで、生徒の個性を尊重し、創造性を培うよう配慮した。【第2号】	p.90-91
	2 創作する 〈篆刻〉姓名印を刻してみよう 〈刻字〉表札を彫ってみよう	○ 姓名印や刻字の表札の創作活動を示すことにより、日常的に見られる印や看板等が書道の分野の一つであることを知り、社会の一員として、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第3号】	p.92-95
書道史	書の特徴と歴史 【発展】書道史略年表 日本・中国書道関係地図	○ 「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」、それぞれの表現上の特色や現代の日本の書に至る歴史を取り上げることで、伝統文化を尊重する態度を養うよう配慮した。【第5号】 ○ 書道史を分かりやすく整理し、豊富な図版と共に示すことで、幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮した。【第1号】 ○ 日本と中国の書道史を関連付けて示し、書を通して日本と中国が交流・発展してきたことを学ぶことで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第5号】	p.96-103

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

他教科の学習との関連を図りました。

- 古文・漢文や歴史の学習との関連性にふれ、総合的に知識と感性を高められるようにしています。「日本文学に登場する能書」では、「源氏物語」や「枕草子」の写本を掲載し、高等学校国語科との関連を図りました。「書道史略年表」では、時代ごとの書文化の特徴を、当時の社会や文化の動きをもとに解説し、世界史・日本史の観点から書道への理解を深められるよう配慮しています。

すべての生徒にとって使いやすく、わかりやすい教科書を実現しました。

- 特別支援教育の専門家から校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。
- カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、誰もが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表、担当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-201	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38・光村	書Ⅱ・704	書Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 圧巻の巻頭ページ

●古典と現代の個性豊かな書を、一挙に掲載しています。

巻頭には、「王羲之の書」「三色紙」を一挙に掲載しました。比較鑑賞することでその美を深く味わうことができます。続く「広がる書の表現」では、古典を踏まえつつも個性豊かな現代の書を取り上げました。鑑賞と表現の力を併せて育めるよう、配慮しています。

p.3-5「三色紙」



表2-p.2「王羲之の書」

p.6-7「広がる書の表現」

現代の
個性豊かな
表現



2 豊富な古典教材を掲載

●古典教材のラインナップが充実し、多様な古典に親しむことができます。

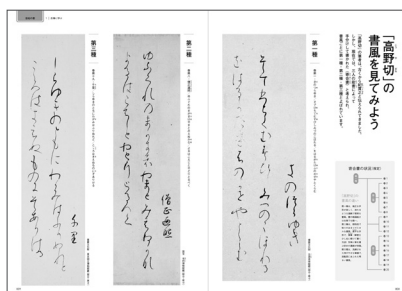
教材の選定においては、さまざまな時代・書風の作品を幅広く取り上げ、生徒の視野を広げて表現の多様性を実感できるように配慮しています。古典・古筆は、諸本の中から最良のものを選び、その書に特有の書風や字形・用筆が見られる部分を採用しました。

掲載古典一覧

領域	書体	主要教材	知識・理解教材及び副次的な扱いの教材
漢字の書	篆書	「泰山刻石」 「石鼓文」「臨石鼓文」 「小臣觶犧尊」「甲骨文」	「小克鼎」
	隸書	「乙瑛碑」 「居延漢簡」 「曹全碑」「石門頌」	「里耶秦簡」「葉子侯刻石」「礼器碑」
	草書	「十七帖」 「書譜」「自叙帖」	「行穰帖」「初月帖」「寒切帖」「妹至帖」「大報帖」 「遠宦帖」「淳化閣帖」 「永元器物簿」 「離洛帖」「恩命帖」「国申文帖」 「草書諸上座帖卷」
	行書	「集王聖教序」「温泉銘」 「祭姪文稿」 「祭伯文稿」「争坐位文稿」	「姨母帖」「奉橘帖」「孔侍中帖」「喪乱帖」 「蘭亭序」(張金界奴本／神龍半印本)「興福寺断碑」 「李柏尺牘稿」 「黃州寒食詩卷」「松風閣詩卷」「虹泉詩卷」
	楷書	「薦季直表」「爨宝子碑」 「始平公造像記」「張猛龍碑」 「孟法師碑」「樂毅論」(光明皇后)	「黃庭經」「樂毅論」(王羲之) 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」「顏氏家廟碑」 「賀蘭氏造像記」
仮名の書		「高野切第一種」 「高野切第二種」「高野切第三種」 「本阿弥切本古今和歌集」「関戸本古今和歌集」 「元永本古今和歌集」 「香紙切」「針切」	「継色紙(5点)」「寸松庵色紙(5点)」「升色紙(5点)」 「源氏物語」「大鏡」「枕草子」
漢字仮名交じりの書		金子鵬亭 松井如流, 青木香流, 東地滄厓, 森田安次, 小林抱牛 夏目漱石, 芥川龍之介, 森鷗外 良寛	



p.28-29 「書譜／自叙帖」



p.58-59「高野切」の書風をみてみよう

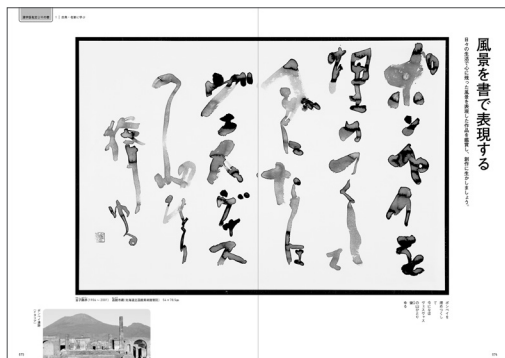


p.76-77「風景を書で表現する」

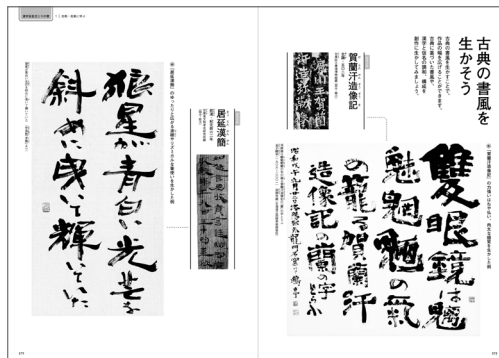
3 充実の「漢字仮名交じりの書」

●鑑賞や創作活動を通し、生徒の表現力を着実に育みます。

「漢字仮名交じりの書」では、多彩な書の表現を取り上げることで、生徒が自身の思いや意図を効果的に表現できるよう工夫しています。創作活動は生徒に身近なテーマを設定し、主体的に取り組めるよう配慮しています。



p.74-77「風景を書で表現する」



p.78-81「古典の書風を生かそう」



p.82-83「イメージを書で表現する」

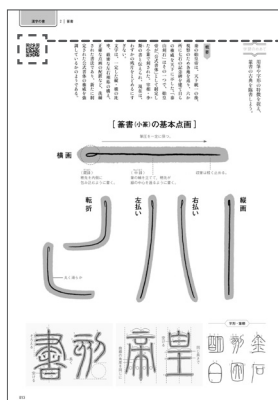


p.86-87「ポスターを作ろう」

4 学習をサポートする「二次元コード」

●書に対する興味・関心、理解がぐっと深まります。

教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、スマートフォンやタブレットを使って、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」「篆刻 刻字」の各分野の多様なコンテンツを閲覧することができます。



p.13「泰山刻石」



「漢字の書」では、臨書教材の運筆動画や臨書手本、写真資料など、学習をサポートする豊富なコンテンツを用意しました。



運筆動画



臨書手本



写真資料

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		A表現	B鑑賞 ⁽¹⁾	[共通事項] ⁽¹⁾	内容の取扱い	
王羲之の書 三色紙 広がる書の表現		(1) ア〔ア〕〔イ〕〔ウ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕 (2) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕 (3) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔ウ〕 〔エ〕	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	表2-p.7
漢 字 の 書	1 はじめに 個性豊かな漢字の姿		ア〔ア〕 イ〔イ〕〔ウ〕〔エ〕	ア・イ	(5)(6)	p.10-11
	2 篆書 泰山刻石 石鼓文／臨石鼓文 小臣觶簋尊／甲骨文 〔コラム〕 何のために書くのか？	(2) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔エ〕	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.12-19
	3 隸書 乙瑛碑 居延漢簡 曹全碑／石門頌	(2) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔エ〕	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.20-25
	4 草書 十七帖 書譜／自叙帖 〔コラム〕 名品になった詫び状	(2) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔エ〕	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.26-31
	5 行書 集王聖教序／温泉銘 祭姪文稿／祭伯文稿／争坐位文稿 〔コラム〕 顔真卿の「三稿」 〔コラム〕 北宋の三大家	(2) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔エ〕	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.32-39
	6 楷書 薦季直表／嬰宝子碑 始平公造像記／張猛龍碑 孟法師碑／樂毅論 〔コラム〕 タイムスリップ書道史	(2) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕 ウ〔ア〕〔イ〕	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔エ〕	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.40-47
	7 創作する 近現代の書を味わおう 座右の銘を書こう 〔コラム〕 日本文学に登場する能書	(2) ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕 ウ〔ア〕〔イ〕	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔エ〕	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.48-52

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		A表現	B鑑賞 ⁽¹⁾	[共通事項] ⁽¹⁾	内容の取扱い	
仮名の書	1 古筆に学ぶ 高野切第一種 「高野切」の書風を見てみよう 平仮名・変体仮名 表現を比べよう 自然を生かした紙面構成 多彩な表現を楽しもう	(3) ア[ア][イ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ]	ア[ア][イ] イ[ア][イ][エ]	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.54-67
	2 創作する 用具・用材による変化を楽しもう 百人一首を書こう [コラム] 料紙を作ってみよう	(3) ア[ア][イ] イ[ア] ウ[ア][イ]	ア[ア][イ] イ[ア][イ][エ]	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.68-72
漢字仮名交じりの書	1 古典・名筆に学ぶ 風景を書で表現する 古典の書風を生かそう	(1) ア[ア][ウ] イ[イ] ウ[ア][イ]	ア[ア] イ[ア][エ]	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.74-81
	2 創作する イメージを書で表現する 直筆で味わう名作 ポスターを作ろう [コラム] 良寛の書	(1) ア[ア][イ][ウ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ]	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ] [エ]	ア・イ	(1)(2)(3)(5)(6)	p.82-88
篆刻・刻字	1 はじめに 多彩な印の表現 さまざまな書体で見る姓名印	(1) ア[ア][ウ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ] (2) ア[ア][イ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ] (3) ア[ア][イ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ]	ア[ア][イ] イ[ア][イ][エ]	ア・イ	(1)(4)(5)(6)	p.90-91
	2 創作する 〈篆刻〉 姓名印を刻してみよう 〈刻字〉 表札を彫ってみよう	(1) ア[ア][イ][ウ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ] (2) ア[ア][イ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ] (3) ア[ア][イ] イ[ア][イ] ウ[ア][イ]	ア[ア][イ] イ[ア][イ][エ]	ア・イ	(1)(4)(5)(6)	p.92-95
書道史	書の特徴と歴史 書道史略年表 日本・中国書道関係地図		ア[ア][イ] イ[イ][ウ][エ]	ア・イ	(4)(5)(6)	p.96-103

編修趣意書

発展的な学習内容の記述

※受理番号	学校	教科	種目	学年
103-201	高等学校	芸術科	書道Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38・光村	書Ⅱ・704	書Ⅱ		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
98	書道史略年表	1	高等学校学習指導要領 芸術科 書道Ⅲ 3 内 容 B 鑑 賞 (1) 鑑賞 イ(イ) 日本及び中国等の書の伝統と その背景となる諸文化等との関わり と関連する。	5
合 計				5

（「類型」欄の分類について）

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容